

## 令和4年度 第6回 政策調整会議 会議録①

- 
- ◆開催日時：令和4年12月20日（火） 09：30～09：37
  - ◆開催場所：第1委員会室
  - ◆出席委員：堤副市長、戎井副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、  
寺本財務部長、松下まちづくり推進部長
  - ◆説明者：山田都市計画課長、藤井都市計画担当特命参事
- 

### ◆審議事項

都市計画マスタープラン案について・・・・・・・・・・・・・・・・都市計画課⇒承認

---

### ◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉細かい点についての修正等、案の策定に時間を要したが、無事まとめることができ感謝。総合計画とは異なり、具体的な土地利用に影響するものなので、1月13日の都市計画審議会の審議が重要。諮問においては丁寧な説明を行うこと。

パブリックコメントについては、しっかり内容を読んでいただいた上でのご意見が集まってきている。最終の締め切りまでにもう少し意見が出てくるかもしれないので、追加があれば政策決定会議に提出してほしい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和4年 12 月 14 日

### 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 まちづくり推進部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

#### 記

付議事項名	都市計画マスタープラン案について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、 簡潔に記載すること。)	令和5年度スタートの都市計画マスタープラン案について、11/18 から 12/19 の期間で実施のパブリックコメントについて報告するとともに、令和5年1月開催の都市計画審議会に諮問することについて付議するものです。
説明者	山田 都市計画課長、藤井 都市計画担当特命参事
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和4年度 第6回会議
付議事項	都市計画マスタープラン案について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	将来ビジョン・岸和田は、市制施行100周年を経て、次の”新しい岸和田づくり”をめざし、安心していつまでも住み続けることができる、個性豊かで魅力的なまちであるために、「笑顔にあふれ、誰もが”幸せ”を感じる都市」の実現を基本理念とします。市民や行政など様々な人が互いに協力しあい、総合計画に描いた将来像に向かってまちづくりを進めていきます。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

<p>都市計画マスタープランは、都市計画決定・変更の根拠となる計画であることから、社会情勢の変化や関連事業の進捗等を踏まえて計画改定を行う必要があり、将来ビジョン・岸和田(第5次総合計画)の策定と互いに連携しながら、都市計画マスタープランの見直しを進めてきた。 この度、都市計画マスタープラン案についてのパブリックコメントを11/18から12/19の期間に実施し、令和5年1月の都市計画審議会にて諮問を行う予定である。</p>
---

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
とことん懇話会の開催、基礎調査、アンケート調査、団体ヒアリング等の運営補助委託費【～令和3年3月末】	12,815	12,815						
とことん懇話会の開催、庁内検討会議及び総合計画審議会運営、地区説明会の開催等運営補助及び計画書の作成委託費【令和3年4月～令和5年1月末】		10,538	9,999					
次期総合計画印刷、配布、広報【令和5年1月～令和5年3月末】			2,833					
総合計画の進行管理	16	16	16	16	16	16	16	16
都市計画マスタープラン基礎資料及び策定支援委託費	1,920	2,260	1,400					
都市計画マスタープラン印刷、広報【令和5年3月～4月頃】			850					
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	14,751	25,629	15,098	16	16	16	16
	その他							
事業費			計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
			80	16	16	16	16	16

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
有					
	(無)				

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	目標値				
					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
① 市民の声が市政に反映されていると感じている市民の割合	%	10	7.6						
② 市役所は目標の達成に向け、計画的に施策を推進していると感じている市民の割合	%	14.4	11.7						

※事業費及び人員を確約するものではない。